

2025年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
柔道 5											
対象	3年次	開講期	通年	区分	必	種別	実技	時間数	45	単位	1
担当教員	宮本功三、有山敦士、後藤晃弘、杉本知、加藤健太、秋田雄大			実務経験	有	職種	柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）				
授業概要											
柔道整復師として必要な柔道の技術・知識を習得します。											
到達目標											
柔道の理念である「精力善用・自他共栄」の体得と実践を目指すのがねらいである。柔道の特性を理解させ、基本動作である礼法、組み方、崩し、身体動作、投技、固め技、連絡技、自由練習等ができることが目標となる。											
授業方法											
柔道は、精神と身体の力を合理的に使用することが必要であり、単に柔道の技能だけを学ぶだけでなく、医療従事者への社会生活すべてのことを行う原理として応用できるものと考えられることを理解させていく。柔道を行うことによって、お互いに協力し、助け合い、譲り合い、それによって自他共に向上することが社会の発展に役立つことを理解させ育成していく。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
柔道は、相手を投げ、抑え込み、首を絞め、関節を極める技を用いて攻防を行うので、常に危険と隣り合わせである。学生には柔道の攻防の際に生じる危険な状態をよく理解させ、未然にそれを回避する能力をつけることを意識させる。危険と隣り合わせである授業名だけに、意味のない授業中の私語や授業態度は厳しく対応する。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認めない。											
教科書教材											
教科書（イラスト柔道-品川区柔道会日本柔道整復専門学校監修-）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	投の形（足技）①										
第2回	投の形（足技）②										
第3回	投の形（足技）③										

柔道整復科

柔道 5

第4回	投の形（足技）④
第5回	投の形（足技）⑤
第6回	投の形（足技）⑥
第7回	投の形の足技（送足払・支釣込足）ができる
第8回	投の形（足技）⑦
第9回	投の形（足技）⑧
第10回	投の形（足技）⑨
第11回	投の形（足技）⑩
第12回	投の形（足技）⑪
第13回	投の形の手技・腰技・足技が一連の流れでできる
第14回	半期の総括
第15回	礼法総括